



三年

八月十七日
九月十四日迄

丙子

巳卯日誌

早稲田大学図書館

文書 27

A 55

3



摘等帖

明治十二年八月到 月日誌

○八月十七日休暇在宅夜來無風炎熱甚園庭頃刻之間
則清淨燈之點之十二基如白晝可忘暑

○岩佐門生林就母、視察、來、口、岩佐、半年、分、樂、價、二、高、山、造
○十八日清公使館ヲ訪沈福夫と筆談及陳事葉子一函ヲ
贈、片、張、ヲ、贈、去、者、ヲ、受、リ、此、頃、張、斯、柱、公、ヲ、詩、稿、ヲ、贈、正
○來、之、尚、又、福、夫、ヲ、評、ツ、云、リ、乃、至、如、此、也

長江宛り見舞明夕月相母子小森決りし海垣り招請

○二十日午後二時西園中村橋行々玉箱餞別り為来り菊池者
張新桂黄不及沈梅丈玉清園重野岩白山就為謀者深湖山
小山西尾野木下佐川園本藤田栗本園龜宮佐田増田渡部中村
數十人玉紫詮頗多味香日預小收果幹事周旋夜十時帰宅
自宅ノ宴會未散月輪母子二十三日大坂へ出帆

○二十一日福島長平氏来木村丈八様明日帰蘇州より来

予別重野より玉箱告別 竹亭野橋筆記

長政宛へ書葉菓子一箱り可輪母投下 木村に勝海舟一箱投下
志しん情別

○二十三日常報俊虎来近日長安より行々實りて福達
邊捜索り北村徳太郎内務山林局へ出仕明日り亦曾
邊出張り晩餐差出晩来俄然一天黒雪起り非常
大雨且雷鳴心氣不安夜九時全晴

上野臨幸委員より来輪り得り

玉紫詮
帰帆

一筆啓上候陳、今般府民、情願、有、先、昔、午後二時三十分
御出門、上野公園、御臨拜被有、在、候、旨、被、仰、出、候、就、同日
右刻限前、同所、御考會、御座候様、仕、及、此、段、御業、内、申、候、也

明治十二年八月二十日

御臨拜事務委員 徳代
洪澤榮一

福地源一郎

宮島誠一郎様

追啓御諾召之儀、連、上野公園地内、凌雲院、相設候御臨拜

事務局へ御通示被下度、此段、添、申、上、候、也

右通事、差、出、申、事、
○在、赤坂、邊、散、安

○二十四日、佐野常民、来、与、郡、公、使、招、請、致、後、案、内、御、相、及、交、配、
ナリ、佐野、議、官、有、心、人、ナリ、先、身、和、蘭、ニ、在、ル、日、本、海、東、航、行、有、益、
人、ト、以、テ、以、州、ニ、植、物、学、士、ヲ、集、テ、建、碑、ヲ、シ、當、時、ニ、在、ル、傳、授、セ、ル、ハ、
靜、海、伊、藤、主、八、而、在、於、之、幹、事、ニ、成、リ、寺、島、大、隈、佐、野、末、黒、田、老、心、
ヲ、議、長、ト、シ、花、島、碑、ノ、碑、文、及、シ、八、百、四、十、集、テ、和、蘭、公、使、意、見、日、本、

一碑あり、其六ヶ所、當人の靈魂と慰むべし、仍六百圓、改州に送り、二百圓、
長崎公園中、此を碑の多きもの我縣、伊東坊に長崎に於て曾し
三井さんと傳授せし、今、平田東作十、其遺物に父の現存中、
ケ様、盛事、加名させたり

藤倉改大衛末、上杉貞俊の歎

午後可祝、携へ常磐橋、治發帰途、勸工場へ、壽買物
此夜極静、就寢 御清、一、事、二、代、三、世、法、生、存、業、ノ、善、事、也、

○二十七日、晴、去、清公、後、何如障、佐野招請、事、談、四、者、有、事
其後、欲、就、招、梅、文、訪、著、談、移、時、向、帰

答、何如障、回報、翰林侍讀、起、選、清、人、被、禮、服、祝
詞、述、館、中、大、極、静

午後、騎、上、野、公、園、地、遊、數、第、手、觀、人、實、多、騷、キ、
分、り、七、第、ホ、ト、點、シ、三、時、過、キ、
聖、上、御、臨、幸、我、木、棧、敷、手、劍、櫃、弓、
御、酒、饌、賜、

然後雲院前洋鑊之食其後精養軒涼亭ヲ不忍池ニ烟火ヲ觀誠壯

觀ニ山縣井上伊藤大隈西鄉等之面命ニ克蘭德夫婦來觀ス吉田清成

克蘭德面會ヲ批シ還ニ上野ヲ遊世橋近遊人如織怡無シ錙シ地

皆格別相見ニ盡力ノ人ニ流淚福地益田等山ノ小宮非車ヲ九山傳高

三ノ七清水山記ニ序ヲ三ノ茶茶ニ記ス書ヲ二ノ番棧敷ヲ言フ六ノ元茶ヲ

一御着服ニ通常禮服也
一御着女ニ向附織袴ニ是不
一亦後下野ニ御用ノ事
一昭君ノ節北地中ノ事

午後第六時正會ノ晩餐ヲ三ノ番
西ニ番
棧敷
大官員等三ノ番
明治三年八月十日西本順廷事

二十六日佐野儀官ヲ訪シ午食シ記シ相成園林徘徊樹下休息

烹茗清談亦銷夏ノ一興ナリ

夜吉井昭伊智係ヲ隔京晚食シ招リ本田伊地知等於會ニ揮毫

吉井上毛山水ニ壯遊ヲ記ス

二十七日午後三時克蘭德ヲ延達雖モ訪榎濱行ニ在上野公使ノ

宅ヲ訪シ不在シ壇上寺内古木林中細涼帰宅

夜亦復シ到リ五川勇門依事何ヲ解難ス

○二十日午前克蘭德ヲ訪フ朝ラリ内務大臣一觀ヨシ
○二十日午後森有禮、来リ

長以宅ヲ志者ト云フ日思下議

○二十九日午時延達館ヘ行キ吉田軍奉行、面會ニ時頃吉田軍奉行一室ニ於テ
ラ面會セリ克蘭德、差出ル一書、吉田公使英語ヲ演説ス畢ラ答詞
吉田又日本語ニ直シ致謝ニ無間馬車ヲ他出ス吉田謝ス吉田曰漢文ノ外ニ
英文ノ譯書ヲ溢ヘテ持考セテ以テ則來書記官ニテ候又本國歸

リモ必ク影射者ト見レシムカレド、少ナク亦四十九才息子、二十九才ノミ
歸途克蘭德、途ノ清公使館ヘ行キ柙子被賊奪ラ得言スナシ公使館
ニテ例外ノ大ニ國旗ヲ建テ祝セリ

吉田、志者ト云フ細談話。伊知正治伊者保ト云フ行々

岩井志直家族ヲ據テ進擧シ達摩門前移位

○三十日岩倉殿ニ行石在真休使館ニ到ル重野、面會

文部省ト志者ヲ克蘭ヘ可達書状ヲ翻訳ヲ頼テ九鬼書記官面會連

承諾明後日正副主派(一)原百中(一) 清使在東人考嘉瑞(一)撫國(一)と
贈嘉(一)

此時(一) 吉井(一)七(一)事(一)十(一)回(一)忘(一)ノ(一)警(一)事(一)之(一)情(一)之(一)百(一)多(一)ク(一)扱(一)居(一)リ(一)秘(一)摺(一)一(一)冊(一)送(一)
岩(一)下(一)亦(一)横(一)伊(一)地(一)和(一)大(一)山(一)脚(一) 大(一)方(一)保(一)兄(一)亦(一)其(一)他(一)親(一)族(一)婦(一)人(一)来(一)宍(一)リ(一)夜(一)十(一)時

帰 吉井善(一)富(一)之(一)選(一)ノ

〇三(一)日(一)夜(一)日(一)警(一)事(一)ノ(一)眼(一)且(一)食(一)ノ(一)夜(一)甚(一)子(一)岩(一)井(一)ノ(一)轉(一)宅(一)訪(一) 母(一)公(一)病(一)後(一)始(一)リ(一)小(一)森(一)派(一)到(一)
官(一)二(一)日(一)ノ(一)風(一)繁(一)リ(一)夜(一)中(一)リ(一)ノ(一)暴(一)風(一)塵(一)瓦(一)ヲ(一)飛(一)レ(一)而(一)亦(一)注(一)射(一)就(一)寢(一)

克(一)蘭(一)德(一)ハ(一)果(一)賤(一)リ(一)起(一)身(一)陸(一)軍(一)中(一)官(一)進(一)時(一)ノ(一)戰(一)事(一)威(一)名(一)得(一)テ(一)遂(一)
大(一)統(一)領(一)林(一)根(一)ノ(一)拔(一)擢(一)何(一)テ(一)南(一)北(一)戰(一)事(一)ノ(一)百(一)萬(一)ノ(一)兵(一)ヲ(一)率(一)テ(一)華(一)魁(一)領(一)リ
必(一)全(一)ラ(一)レ(一)メ(一)林(一)根(一)刺(一)殺(一)ス(一)レ(一)ノ(一)後(一)リ(一)受(一)テ(一)大(一)統(一)領(一)ノ(一)登(一)用(一)ス(一)レ(一)テ(一)八(一)百(一)七(一)十(一)三(一)年
再(一)ヒ(一)統(一)領(一)ニ(一)進(一)シ(一)攝(一)又(一)北(一)友(一)三(一)回(一)任(一)用(一)ノ(一)評(一)議(一)ス(一)レ(一)ヨ(一)シ(一)當(一)年(一)五(一)十(一)七(一)歳
我(一)嘉(一)永(一)六(一)年(一)五(一)月(一)身(一)被(一)理(一)ノ(一)来(一)ル(一)ヤ(一)西(一)洋(一)千(一)八(一)百(一)五(一)十(一)三(一)年(一)ノ(一)當(一)リ(一)歐(一)州(一)ニ(一)佛
國(一)大(一)統(一)領(一)三(一)世(一)ホ(一)レ(一)ラ(一)シ(一)福(一)帝(一)ノ(一)年(一)リ(一)安(一)政(一)元(一)年(一)魯(一)西(一)船(一)封(一)茶(一)陳(一)橫(一)濱(一)
来(一)ル(一)西(一)洋(一)五(一)十(一)四(一)年(一)ニ(一)却(一)兎(一)英(一)佛(一)ノ(一)權(一)ヲ(一)受(一)テ(一)魯(一)上(一)戰(一)ノ(一)年(一)ニ(一)英(一)船(一)亦(一)来(一)江(一)戶

魯、稻糠ヲ答、日本海ニ自然魯ノ前敵、日ヲミ、東西呼應致カレ、此年彼理ホ
江、来リ、昨年、各書ヲ求、遂ニ九里濱ニ極使所ヲ建ツ、改二年乙卯、洋曆五十九年
佛入、戦勝、魯領、^二ズ、^一ホルヲ取ル、改三年丙辰、^二九、^一方、洋曆五十六年、都魯佛
英、講和、成リ、佛ノ巴黎、^二斯、^一魯ノ黒海軍艦ヲ繫リ、禁ス、以テ戦争ノ次ハ五
米利加、太平必穂ナリ、^二且、^一英人ノ米領、^二家、^一米、^二憤、^一事、^二ラ、^一セ、^二位、^一事、^二ナ、^一
改四年丁巳、洋曆五十七年、米公使ハルリス、^二江、^一来リ、大將軍ニ謁ス、此外國ノ
將軍、^二德、^一公、謁ス、^二始、^一ヨリ、萬延元年、唐中、洋曆五十八年、我邦始テ使節

ツ合衆國ニ派遣ス、此後六十一年、南北洲ノ間ニ不和ヲ生シ、大戦争ニ成リ、
我慶應元年五年、洋曆五十五年、大統領リニコロン、刺客ニ殺サル、米國和成リ、而テ
ガント公、^二結、^一大統領、^二成、^一慶應二内、^二實、^一洋、^二六、^一六年、李國瓊地利ヲ伐テ、其連名
州ヲ取リ、七十年、遂ニ越南西ヲ伐テ、三世ホシ、^二敗、^一軍、^二英、^一國、^二走、^一ル、^二七、^一五年、^二佛、^一
和成、^二此、^一後、^二七、^一三年、^二ガ、^一ラ、^二ド、^一再、^二ニ、^一統領、^二職、^一ニ、^二登、^一リ、四年、^二期、^一ヲ、^二送、^一リ、而シテ
地球遊曆、^二明、^一治、^二十、^一二年、八月、我國来リ、九月、名橋濱ヲ解纜シテ去ル、
云フ

米國乘航始末

嘉永六年^{癸丑}六月三日合衆國水師提督彼理齊軍艦四艘蒸氣蓋械 昔六年人

來相州津賀碇泊觀音岬浦四賀奉行戶田伊豆守久榮共屬更中島

三郎香川某到彼船鞠問來者彼理答曰我王命小臣請貴邦以

通商交易因奉國書方物來欲獻之重官碇泊中若有人近我艦

者以砲制之意氣傲然如傍無人者六幕村使井戶石見守缺太浦賀

奉行即刻發砲江戶到浦賀於栗濱築方百間假館以為

接使所^九奉行戶田伊豆守久榮井戶石見守大學頭林健等

於假館始接水師提督彼理齊率兵隊三百七十一人旗鼓

安行詣假館獻國書洋帛必滴蒸氣船圍等曰願於

大將軍前開書翰其書曰我合衆國東西界太平洋西方望

貴邦而カリホニ馳火輪船則十八晝夜可達カリホニ者我

邦一大部每年產黃金四千萬兩亦多產寶石貴邦多產亦

想同若互往來通商必有大利是以來請交易先試之市

廿六年若無益則宜速罷

与克蘭德書

謹呈合衆國前大總統克蘭德公閣下。僕耳隆名久。今日復始
接笑眉。喜幸實過望外。暑天貴體。尚敬頌。僕十六歲時
曾賣地使節彼理君來江戶。當時幼小。未辨時事。惟聞天下親
可吾。論罷而已。彼理君曰。貿易相通。實為公道。其利國家。不容疑
先取目前之近者。譬之如。又密戶。防風雨。用。阻。際。與。紙。孰。損。孰。益。應。不
待辨。至。漢。郵。電。機。之。大。者。切。用。亦。大。誠。為。貿。易。五。六。年。而。有。害。無。

益則及其時為政固有何不可之爾。未回頭二十七年恍如一夢。夫
我邦開港通商與萬國相交。實原于憂邦之慮。意其間國勢
艱難。人事變更。漸得今日佳境。固不令初。素可概想當時情態。
平政維新。後我君臣夙夜盡憤。改其弊政。以採萬物之美。以補我
不足。獨無業外品。輸入大國。產輸出。遂將改國。難是誠可慮也。
方今我政府改正條約。以圖責以討獨。先同盟諸國。而認可鈔署
之。於是始知彼理君不我欺。責非誠。知仁人君子宜永遠和好。

親睦也。余常聞閣下。良友林根。以真誠於。坐右以採其文
誦之。厚。今又得親晤閣下。誠是僕之幸福也。謹呈單語於
左右。以代名刺云爾。

明治二十八年八月二十日 日本帝國之臣官島誠一郎拜具

右一通 延達館持參 吉田全權公使 清成 沼以三 克蘭德
面會其時 吉田親之面前 三右書翰 英諾 譯之讀之
三 克蘭德亦英諾 以三答詞 均之吉田 即筆執

其答詞の訛字を記す如左

余は今日足下と相見しに悦ぶなり

余の意は又足下ノ意と同じく輸出額漸次増加し輸

入額平均を望むるに外ならず苟も輸入額平均

スル此の時自ラウ内地産を爲し金銀屬の内地留を以

て内地の産物起し物貨の融通を佐するに得るを望む

何レノ國の論を現在ノ條約ヲ強ヒテ其儘保持せんことを

聊モ變更せんナカラシメテ主張するに目下ノ小利を囓眩シテ後

來相互の利益を得ルに思はるる至此政略を以て言フヲ待タサ

ルナリ

日本ニモアレ又他國ニモアレ輸入と輸出とト云て過キ以テ久キヲ經

トキ其貿易の早晚必ず衰減を來リ諸外國モ亦タ是レカ爲メに貿

易ノ利ヲ失フに至ルベシ故ニ余貴國ノ爲ニ救ヒガ爲メに改訂

一件ノ速ニ完結を望むるに日本入ニモ盼ラサルナリ

千八百七十九年八月二十九日

クラフト

○九月一日晴殘蟬聲噪ニ晩食而親對食庭吉井ヲ訪テ

三時迄談話政府ノ種振リ 克蘭德意慮ホリ吾知

三三

九息陸一ヨリ吾批ノ克蘭德ニ送譯文送來

伊地知正治伊音保温泉行島田五八世祖ノ次來ル

二日早起清書并英文相添ハ克蘭德下届ヨリ復白金

吉田清成宅ニ集リ彼等ヲ警ニ面會ス批ス

夜に會し、^{鳥姓}一校、同人^子贈^{後事}

夜吉井回車延遠館へ行キ吉井外^子クランニ^子名別傳^事夜

相會し^面三條岩倉有栖川、烏宮、大隈、木寺、島、黒川、村

西畑、山縣、伊藤、井上、徳大寺、杉森、吉田、横本、青木、上野、山尾、野澤

兄弟、谷、土方、大山、佐野、吉井、福羽、山田、玉乃、前島、伊藤、戸塚

大給、丸岡、櫻井、香川、中井、塩田、淡澤、小室、石井、安藤、六ツ子、松

三、清田、公、米、公、使、喜、公、使、ホ、共、淡、山、口、中、村、田、子、福、地、田

宮本ホレ^子見^レ此^レ意、不暗庭前、數箇、紅紙燈^子掛^レ正面、太平)

字、録、点、撥、し、面、所、海、濱、車、樂、う、志、空、キ、相、成、う、志、地、り、七、月、十、六、日

ノ、隔、月、皎、々、澄、々、上、り、是、景、不、可、言、十、時、吉、井、回、車、帰、ル

三日、ラ、ラ、目、出、度、出、度、十、時、横、濱、出、帆、ニ、シ、ウ、川、村、金、剛、鑑、ヲ、觀、音

岬、送、送、ニ、シ、ウ、夜、吉、井、香、田、伊、地、地、貞、長、政、桂、谷、會、々、揮、毫

四日、新聞、紙、来、グ、ラ、ン、ハ、應、接、ノ、文、詞、ヲ、載、出、テ、晚、來、而、来、ル

夜、伊、藤、博、文、先、生、^{根、不、飯、ノ、官、宅}、吉、井、中、井、大、山、縣、會、集、十、時、帰、宅

徳女 明字

昔又館中勤事神面略上野山博如局ノ金漆室和之窓庵ノ
茶室ヲ見ル古筆ヲ神多扇有之テ茶室ヲ見ル且下窓庵ノ障
ヲ聞ク精養軒ニテ食ハル浅草公園ニ遊ビ居ル
六日皇子命名諸君好也テ地カハ祝聲喜友。我宅ニ戻
ノ誕生ニ命名ト云ハ不感也。母ノ説クテテ而版ノ訓也
テ後九鬼隆ニテテ謝辞ヲ述テ而曾殿往祈シ也
下條桂火ノ主為リテ謝

七日日曜日朝ヨリ秋氣来立テ早秋凌々難シ

吉井本田伊地知ノ伴墨氷上ノ拙筆ニ遊テ閑靜ニ言本田有
詩甚顔ニ和ス燒鳥ニテ取シテ帰ル早稻已ニ熟ハシリテ上リ
橋端ニ渡リ過キ浅草川内ノ過キ湯宅前ノ會
八日後清館沈文焚テ訪黄公友ニ遊遊ニ
吉井宅ニ長政下條ヲ招テ一會本田伊地知ヨリ招得也
張カカ成リ夜ノ揮毫ニ君ノ畫ニ帰

九日晴雨

十日雨午後四時沈文榮之會之ニテ塘壩河
柳為之會飲園十仔龜古行及我ナリ
替萍橋中法人來蓋高亮ヲ揮

十日雨今日も勤休暇お濟編集官一日
如樹之可退也 誓之公能臨

昨日來白雪山歌山之書、此は徳小森海

家坊之人了系從、片末乃中似熟心、云
此は徳心

十日雨更鐘出勤

一日十日寺島参議外務卿、文部卿轉
井上工部卿、参議外務卿、任之山田司法
大輔、参議工部卿、任之

是ニテ澹州参議、人長州参議、又

土

九月十日

十日大風雨豊野郡御懸山白鳥山

ノ水北ノ水確不考

池田成孝由南有層ノ山宿有年

風和ノ多又人ナリ七ノ少事林河

新ノ乃七ノ中 公於何之也 無の在 高の年

高の海晴の霞のナリ 家内事候 劇ノ事

十日吉田信成ノ事ニ照候ノ事

十五日

十六日

十七日

十八日

十九日 傳明ノ事

二十日土曜

二十日曜

昨日好天氣より、早野渡、其の大阪、
藤岡組の藤岡中野格、二國、幣、廣、造、院、也、
と記載あり、其の事、後、其、不、思、議、の、事、
あり、其、事、也、

伊藤彦謙、其、不、立、派、川、の、別、荘、の、跡、也、

中井弘と、坊、寺、打、屋、御、殿、也、！、大、坂、の、事、件、の、
如、何、の、信、用、活、成、中、の、御、聲、廣、造、院、也、
其、事、也、其、事、也、

午後三時より、三條公橋、橋、の、別、荘、の、跡、也、
、近、老、菊、池、海、在、御、殿、の、御、聲、廣、造、院、也、
三、條、公、橋、の、跡、也、其、事、也、其、事、也、
樓上、の、御、聲、廣、造、院、の、跡、也、其、事、也、

お始り溪琴の頃興と伴一巻水一様毫の如く
中川雪景の如く清景を溪琴に託し
空際路の芳法を習ふは久に訓の首なる考
数度建白ありては新に景を賜はるる
二重の年増高同修因に訪り祀する
黒川の如く節々梅の極る傍々小川
池人家の如くしと習ふは遊の如く
大塚野と

連収棟を築くは此觀を築くは
計集之人を山お十の池の社に
く時より計集の如く流るる人の如く
常とて計集の如く流るる人の如く
強の如く計集の如く流るる人の如く
の如く計集の如く流るる人の如く
しるる計集の如く流るる人の如く

二十日

昨日、三條公、松平重定、若目忠房、
以下、三條邸、新礼、

出館、勤王、下、勤王、海、在、好、事、之、記、載、也、
勤王、送、之、午、十、時、也、勤王、朝、初、拜、者、因、松平、七、時、以、臣、
七、勤王、以、君、上、移、先、公、之、忠、行、之、記、載、也、
之、勤王、事、之、記、載、也、

勤王、以、忠、志、田、七、先、身、中、勤王、
勤王、廣、造、一、件、之、勤王、
勤王、
二、勤王、
勤王、

勤王、
勤王、

勤王、
勤王、

勝お、系う、た、ま、何、使、の、浮、来、う、は、ま

伊、東、拜、迎、シ、井、ホ、レ、ト、建、碁、屋、十、圓、抄、庵、贈、来

古、母、り、光、儀、三、十、年、忘、存、月、下、カ、、寄、拜、姑、来

吉、井、り、吹、又、身、話、く、重、り、来、。、お、訪、稿、書、す

二十、四、日、迄、有、内

美、原、出、勤、上、行、宿、舎、以、て、送、、山、田、切、来、

と、な、西、郷、尚、所、を、寄、、三、年、終、き、名、心、を、奉、祝、奉、る、

松、七、年、
し、の、ふ、り

う、系、入、、甲、以、地、口、居、お、木、場、御、用、書、り、年、訪、又、書、出

又、歌、あ、り、予、而、御、し、一、種、を、山、名、の、下、に、書、け、訪、額

、抄、せ、り、也、中、に、寄、す、伊、地、を、り、歌、の、後、に、書、き、り、

二十、四、日、木

美、原、士、勤、抄、木、居、来、。、伊、地、を、り、信、お、名、盛、曲、来

寄、書、具、贈、、。、訪、稿、書、す

佐、野、常、氏、。、伊、東、り、寄、所、。、十、五、圓、の、贈、り、来、り

辛酉 晴 金

去館出勤。三日山野屋書状遣。

曙初子、大坂一帯、書白、新字尚疑、丁日新聞、五代、
演説あり、野田中野七信、落す、又し果、大坂、事、産
説、其、速、功、府、り、新、字、の、説、也、郎、一、の、字、子、以、所、産、也、
之、也、其、の、置、り、む、代、り、却、り、之、を、駁、す、を、如何、に、記
別、仕、合、せ、若、く、も、事、なり

二十七日
二十九日
三十日

十月

川路大蔵
死す

十月一日

三
四、上

五、日

六、

七、
八、日
九、日

十月 三原公持坊子別所菊池院移す。口招、三浦代、大坂

十、可、知、伊、知、地、行

十、可、知、伊、知、地、行

十、可、知、伊、知、地、行

十、可、知、伊、知、地、行

十、可、知、伊、知、地、行

十、可、知、伊、知、地、行

時
 大徳院
 井上
 深田
 人々
 藤野
 十日
 十一日
 十二日

次高性千鳥

十者山者と記す

十者川内大坂記し薪成り青山暮

十者大坂記し薪成り青山暮

十者大坂記し薪成り青山暮

十者大坂記し薪成り青山暮

十七日新堂茶。日本書林

十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十

大坂記し薪成り青山暮

大坂記し薪成り青山暮

大坂記し薪成り青山暮

大坂記し薪成り青山暮

大坂記し薪成り青山暮

大坂記し薪成り青山暮

大坂記し薪成り青山暮

銭山吉 貴州本口は堀の村商人が田中野苦大和路の上系了

伊城の白旗の河原と別々事得成り河内へ常々地理
伊城の東へ此系系と土中より粟の産出は河内へ
午好川白土の中へ出入り流るるは河内へ流るる
王領の中系系二回系系

十九日 日照 老少を獲れ所取持例梅ありて八十餘経負

二十日 大風雨 浦島瀬の村の 主也無事多

二十一日 北澤の村 一田三三の村 之為易不也

二十二日 伊城の村 移乙軍修三つら
伊城の村 移乙軍修三つら
伊城の村 移乙軍修三つら

二十五日
二十六日
田

二十七日 白全師 法公使何の降中 法公使桂英は法公使

二十八日 黒田大島小牧守本 法公使桂英は法公使

二十九日 何の降中 法公使桂英は法公使

三十日 法公使桂英は法公使

三十一日 法公使桂英は法公使

借月

何如障々流額字南山録より

老方親之終姻心知年々身々星雲より佳我竟
才解之世唯身自之別以自歐洲金婚の神に似し南
山乃ある者之伴何如障々南山録より

七
子故北郊教坊

法使何以降勝為芳之集有之坊坊之若枝沙石之新加一
木易之身改

何之先

十
雨

六

十
六

十四
此日松方伊波清波島津より内京より子信之記
此日松方伊波清波島津より内京より子信之記

十
七

十
八

十九
此日松方伊波清波島津より内京より子信之記

二十
此日松方伊波清波島津より内京より子信之記

二十一
此日松方伊波清波島津より内京より子信之記

二十二
此日松方伊波清波島津より内京より子信之記

二十三
此日松方伊波清波島津より内京より子信之記

十月二十日 此日張所程より東船を罷りぬあり
皆吉井の西園中村橋より刀剣の舎あり往觀
十月二十日 張所程より訪昨の礼を奉進す

十月二十二日 張所程より和回へ養森寺に於て酒を酌し若新の酒を飲
み酒の亦ありなり此等より此等合をあり

十月二十三日 張所程より此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり

十月二十四日 張所程より此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり

十月二十五日 張所程より此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり

二十九
三十

十一月一日 沈玉榮より告別 且此日新中へ改めあり

二

三

四

五日 張所程より此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり

六日 張所程より此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり

七日 張所程より此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり

八日 張所程より此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり

九日 張所程より此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり
此日新中へ改めあり此日新中へ改めあり

中村新中
居宅

十一日

十三日

十四日

十五日 沈文焚 出穀橫濱と運列

十六日

十七日

十八日

十九日

二十日 黃道運善ノ坊ヲ湖々

二十一日

二十二日

二十三日

二十四日

二十五日

二十六日 貸出館出勤 白屋所 火非常 六本 取成 坂元所 行 井 築地 東 毎 秋月 折 爲 記

二十七日 今日 稅前 爲 三々 以 下 黃道 運 善 行

三浦 日 記 終



